

# 特集

## アストロトーク@京大博物館

作花一志（京都情報大学院大学）

青木成一郎（京都大学大学院理学研究科附属天文台）

### 1. はじめに

NPO 花山星空ネットワークの主な活動

天体観望会 年 6 回

天文講演会 年 2 回

飛騨自然教室 年 2 回

天文街道（5 コース）

3 月～12 月ただし 8 月は除く

についてはこれまで何度か支部会や会誌で述べてきた。今回は、原則として隔月最終土曜に京都大学総合博物館で行っているアストロトークという講演+4 次元宇宙シアター上映を紹介する。

2011 年の夏よりこれまで 12 回実施した。もとはと言えば、天文街道ツアーの紹介、説明のために開かれたものだった。しかし、京大日食展（2012 年 4 月 25 日～5 月 20 日）に合わせて 2012 年 4 月から京都大学博物館で 4 次元宇宙シアター装置が常時使用可能（企画展「京の宇宙学」（2008 年 4 月 9 日～8 月 31 日）のために導入）となり、同展示での上映が非常に好評だったので、第 3 回以降はこの装置での 3D 宇宙映像によるライブ解説上映を主にしている。その解説上映は、ほとんど青木が行っている。

### 2. 4 次元宇宙シアターについて

4 次元宇宙シアターは、国立天文台 4 次元デジタル宇宙プロジェクト提供のソフトウェア「Mitaka」及び 3D 動画コンテンツと京都大学天文台オリジナル 3D 動画を、3D 映像投影装置で上映する装置で、最新天文学に基づく宇宙の構造を直感的に理解するには大変優れている。聴衆とのインタラクティブなライブ解説上映に大変適しており、特に子ども向

けの学習教材として秀逸である。京都大学総合博物館と比べて小規模ながら、京都大学花山天文台には 2007 年から導入しており、天文台への学校見学や一般公開、国民文化祭・京都 2011（2011 年 7 月 29 日～8 月 1 日、10 月 29 日～11 月 3 日）などで、たびたびライブ上映してきた。さらに、京都大学総合博物館での展示「京の宇宙学」（前述）、「学術映像祭 2009」（2009 年 8 月 5 日～12 月 13 日）、「小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル特別公開」（2011 年 2 月 2 日～2 月 6 日）、「京大日食展」（前述）、出張上映「青少年のための科学の祭典 糸魚川大会」（2008 年 11 月 29 日、30 日）などでの、上映ノウハウの蓄積を踏まえ、晴れてアストロトークへ組み込むに至った。

### 3. アストロトークの実績

これまでの 12 回の実施により、のべ参加者数は 351 名（毎回定員 40 名）に達し、おかげさまで多くの方が参加している。

アストロトーク参加者に対して毎回実施しているアンケート結果によると、天文街道の参加者は 60 代が多いのに対し、アストロトークの場合は小学生からシニアまでさまざまである。さらに、次のテーマ選定の参考のためにとっている希望テーマのアンケート結果は、不定である。また、特に親子連れの参加者の多くが 4 次元宇宙シアターを楽しんだ様子がうかがえる。しかし、中学生以下は全参加者の約 17%にとどまっているため、今後、若年層の参加者数を増やしたいところである。

1 月 25 日実施予定分を含むこれまでの実施概要は、表 1 のようになっている。なお、

表中の\*印は全国同時七夕講演会の一環として実施されたことを示す。

表 1 アストロトーク実施概要

回	日時	講演内容	講師
1	2011/8/27	安倍晴明の天変	作花一志
2	2012/2/25	古代の日食・今年の日食	作花一志
		天文街道「暦合戦コース」開通	坂田肇
3	2012/7/7 (*)	137 億光年の彼方へ	作花一志
		3D 映像の宇宙へご案内	青木成一郎
4	2012/8/26 (*)	天体ショーへのご招待	作花一志
		3D メガネをかけて宇宙旅行にでかけよう!	青木成一郎
5	2012/11/4	太陽系を揺り動かす太陽活動	北井礼三郎
		3D メガネをかけて宇宙旅行にでかけよう!	青木成一郎
6	2013/1/20	太陽系外縁を騒がせた神々	作花一志
		地球や太陽系外縁の星々から宇宙の果てまで宇宙のすがたを 3D メガネで見よう!	青木成一郎
7	2013/3/24	大彗星がやって来る! その故郷はどこ?	作花一志
		3D メガネで見る宇宙のすがた～彗星のたねは、どこにあるのだろうか?～	青木成一郎
8	2013/4/28	安倍晴明の天変 (続)	作花一志
		3D メガネで見る宇宙～火星のすがた～	青木成一郎
9	2013/5/26	宇宙を形作るもの～コスミックダストからダークマターまで～	作花一志
		3D メガネで見る最新の宇宙のすがた	鄭祥子

10	2013/6/30 (*)	1000 年の時空を駆ける超新星	小山勝二
		3D メガネで見る最新の宇宙のすがた～木星とガリレオ衛星～	青木成一郎
11	2013/7/25 (*)	宇宙で起こる様々な爆発現象を探る	野上大作
		3D メガネで見る最新の宇宙のすがた～土星と衛星タイタン～	青木成一郎
12	2013/10/26	ブラックホール連星が合体する	作花一志
		3D メガネで見る最新の宇宙のすがた～太陽の驚くべき素顔～	青木成一郎
13	2014/1/25	超新星爆発の目撃者たち	作花一志
		銀河間を飛んで宇宙遊泳を楽しもう!	茶木恵子

#### 4. そしてこれから

第 13 回の講演内容は第 4 回、第 10 回のもので重複する部分もあるが、超新星・・明月記・・藤原定家というテーマは繰り返して話している。陰陽師の天変記録、歌人の日記などの平安文化が 1000 年の時を越えて現代天文学に貢献したことを多くの方々に知ってもらいたいからである。

2012 年には金環日食、2013 年には彗星というネタがあったが今年は天文現象に乏しい。4 月の火星中接近、10 月の皆既月食、その他は・・・と思案中である。

作花一志  
青木成一郎